



金沢大学URA組織の現状と未来

金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構(O-FSI), E-mail: o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学URA組織と研究支援業務

先端科学・イノベーション推進機構(O-FSI)の目的

基礎研究から応用研究に至る全領域の研究支援と産学官連携により得られる研究成果の社会還元を促進する。

平成24年4月発足(平成26年4月改組)

学長

外部評価会議

先端科学・イノベーション推進機構

理事(研究担当)

機構運営会議

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

研究部門(戦略的研究推進プログラム)

設備共同利用推進室

アドミニストレーション部門

インキュベーション施設

研究戦略・企画調整G

URA4名(内シニア1名)

- 研究戦略・国際戦略産学官連携戦略策定のための情報収集・調査・分析・IR
- 戦略的企画立案・調整
- 部局の戦略機能強化支援
- 研究支援人材育成・体制の整備

URA育成

研究戦略立案支援

研究推進G

URA4名(内シニア1名)

- 外部資金獲得支援
- 研究・教育研究プログラムの推進支援
- 研究グループ育成及び支援
- 若手研究者育成支援

大型外部資金申請支援

学内研究推進

コーディネイト推進G

URA4名(内シニア1名)

- 産学官連携の推進支援
- 研究成果のPR・産業界への先導
- 地域イノベーション創出の推進支援
- 協力会

個人型外部資金申請支援

知財推進G

URA3名(内シニア1名)

- 知的財産戦略・管理
- 共同研究・受託研究支援
- 技術移転
- 企業化支援
- リスクマネジメント

産学官連携・知財管理支援

	プレ・アワード(外部資金申請前)		ポスト・アワード(外部資金採択後)		
	プロジェクト立案	プロジェクト申請	プロジェクト管理	フォローアップ	研究成果発信
研究戦略立案支援	金沢大学の研究・国際・産学官連携・組織強化に係わる戦略企画の立案支援・調整・関連情報の収集・分析				
大型外部資金申請支援	研究者・国・企業のニーズ収集	大型教育研究プログラム申請支援 申請書執筆補佐 内部・外部折衝・調整	審査終了報告書作成・事業評価対応支援	アドバイザーボード開催	
学内研究推進	学内推進施策立案 研究費配分等	施策実施支援 学内公募・審査	被支援者の研究進捗状況把握	ニュースレター発行等による研究紹介	
個人型外部資金申請支援	研究者の探索・グループニング支援	各種研究資金申請書作成支援 各種申請状況把握	プロジェクト進捗状況把握・支援と情報集積 プロジェクト進捗管理・中間報告書作成等の担当はプロジェクト経費での雇用者、及び部局事務部		
産学官連携・知財管理支援	企業ニーズ把握	各種研究資金申請書作成支援	知財に関するルール策定	知的財産の管理・活用	技術移転先の紹介
	学内ニーズ把握				事業化プロジェクト
	自治体・産業界への働きかけ				刊行物発行
	産学官マッチング	企業との包括連携支援	利益相反管理		応用研究・社会実証支援
URA育成	URA 人材育成(教育プログラム・資格認定・キャリアパス構築)				

金沢大学URAによる研究支援業務の流れ

異分野研究の連携推進



RENCOM (Research Network & Communications)とは、異分野の研究者が集い、お互いの研究を知り、知見を広め、新たな研究の創発を促す研究コンパ

研究交流会

研究者やURAからの提案により異分野連携のテーマを設定し、研究者間の交流を促進する。毎回、レンコンチップス(手作りのときもある!)の提供がお約束。

- 第1回(2014年2月27日): 地域しばりASEAN編
- 第2回(2014年8月25日): 数理科学と生命科学

アンケート結果からは:
・およそ9割の参加者に、「大変良かった」「よかった」の評価
・「今後どこかで自分に活かしたら」など、好評



イノベーション対話促進プログラム(文部科学省事業)

対話型ワークショップを用いて、理想社会を実現するための研究開発アイデアを創出する。

- テーマ① 農山漁村の豊かな資源が成長の糧となり、地域の魅力があふれる社会の実現
- テーマ② 進化と進歩のミスマッチをうめる健やかな社会の実現

→ プログラムを通じて得たアイデアをイラストで表現した。



テーマ①



テーマ②

中・上級URA研修プログラムの開発 (文部科学省事業)

目的

- 国内の大学において研究マネジメントに携わる中・上級者向けの人材養成プログラムを開発する。

作成方法

- URAのスキル標準や基礎的な研修・教育プログラムを踏まえて作成する。
- 欧米における研究マネジメント人材養成の潮流も反映させる。
- 中・上級URA研修プログラム策定検討委員会を設置し、開発プログラムに対する助言及び評価を受ける。

プログラムの特徴

- 海外の先進事例を取り上げたケーススタディ
- 国内のケース収集の仕組みづくりも検討予定

これまでの取り組み

2014年

- 8月22日 第1回中・上級URA研修プログラム策定検討委員会開催
- 9月18日 研修プログラムの試行1回目

URA事業採択校セッション: 教育プログラム②金沢大学 12:45~14:15

今後の予定

2014年

- 10月下旬 HP公開

2015年

- 2月上旬 研修プログラムの試行2回目
- 2月中旬 第2回中・上級URA研修プログラム策定検討委員会開催
- 3月中旬 完成

URAネットワークの構築

- 2009年 第1回RA研究会(本学主催)
- 2010年 第2回RA研究会(本学主催)
- 2011年 第3回RA研究会(本学主催)
- 2012年 第2回URAシンポジウム・第4回RA研究会(東京農工大学及び本学主催)
- 2013年 第3回URAシンポジウム・第5回RA研究会(URA事業採択第1期校共催)
- 2014年 第4回URAシンポジウム・第6回RA研究会(RAネットワーク設立準備委員会主催)
(※ URAシンポジウムは、URA事業採択校共催)

RAネットワーク設立準備委員会参加 → 全国的ネットワーク組織形成に協力

今後の活動予定

競争的資金獲得支援はもちろん.....

- 対話型ワークショップを用いた地元企業支援
- 研究環境改善のための「ここがヘンだよ、金沢大学」企画
- 研究情報発信のための広報担当部署との連携強化
- 対話型ワークショップを用いた新規アイデア創出支援
 - ・多様な新規アイデアを求める研究開発プロジェクト・社会実現プロジェクトを学内で募集
 - ・まずは対話型ワークショップ体験から.....